社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

福祉よこはま

2014年
6月13日
No.172

市民活動・ボランティア活動情報誌

クイズなどを採り入れた「認知症サポーター養成講座」を終えて、サポーターの目印となるオレンジリングを腕にモデルになってくださった受講者と認知症キャラバン・メイト
(横浜市新子安地域ケアプラザ・5月10日撮影)
→認知症への理解・支援の取組は特集で

特集 **認知症への理解と支援**
10年目を迎える横浜「まちかどケア」の取組 …2,3,4

目次

「福祉よこはま」は、一部共同募金配分金を活用して発行しています。

「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています。

特集

認知症への理解と支援

10年目を迎える横浜「まちかどケア」の取組

★認知症サポーター100万人キャラバン

認知症を知り、地域をつくるキャンペーン(厚生労働省)の一環として、平成19(2007)年度から始まった「認知症サポーター100万人キャラバン」。認知症の人とその家族を見守る認知症サポーターを5年間で全国に100万人育て、認知症になっても一人ひとりが安心して暮らせる社会環境や地域づくりを目指す取組です。

現在は目標を大きく上回り、26年3月現在で約499万人のサポーターが全国で誕生しています。

★サポーター11万人突破!!

本年、サポーターが11万人を超えた横浜市。認知症の理解・支援を広げる地域や企業における、サポーター養成講座(以下講座)の実施支援などを行う「まちかどケア※」の取組を紹介します。

※認定NPO法人市民セクターよこはま、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会、横浜市健康福祉局高齢在宅支援課による協働事業

地域で

瀬谷第四地区
認知症キャラバン・メイト　松本幸一さん

地区内(12町内会)の人口は約11,000人。65歳以上の高齢者は4人に1人の割合です。私が民生委員として担当する世帯にも認知症とわかっている人がいますが、全体像はつかめません。

地区には民生委員・児童委員、保健活動推進員など60人の「見守りサポーター」がいて、昨年その中から5人がキャラバンメイト養成講座を受けました。サポーターやキャラバンメイトの活動がより身近になることで隣近所の支え合いの土台が築かれ、住民同士が互いに見守り、気にかけ合う信頼関係が深まるでしょう。一人ひとりが認知症を正しく理解し、自身や家族の認知症を周囲に気軽に相談できる地域になるといいです。

横浜市
二ツ橋第二地域ケアプラザ
社会福祉士　吉池恵里さん

地域ケアプラザが開設された23年度に5人だったキャラバンメイトは現在、13人になりました。奇数月に定例会を開き、学校や企業、地域などの対象別に講座をアピールするためのアイデア、寸劇やクイズの準備をします。仕事を持つ男性の参加が見込まれる土・日開催を求める声もあり、開催に向けた話し合いも重ねています。

福祉従事者などがキャラバンメイトとなることが多いですが、地域活動者の中にもキャラバンメイトを目指す意欲的な人がいます。介護の経験などを生かすことができる地域の人にキャラバンメイトが増えることで"生活者の目線"で認知症に向き合えるようになると思います。

認知症キャラバン・メイトって?

認知症に関する一定の知識を持っていて、サポーター養成講座の講師役として、地域や学校、職場などで講座を開いている方。
(以下キャラバンメイト)

※詳しくは、9ページの福祉Q&Aをお読みください。

◀瀬谷第四地区社会福祉協議会の会長でもある松本幸一さん(左)と、二ツ橋第二地域ケアプラザの社会福祉士、吉池恵里さん(右)

福祉事業所で

▲ふるさとホーム瀬谷の女性職員。中央左が石川さん、中央右が長沼さん。区内のお祭りで「私、認知症と診断されたんだけど」と相談をされたことから、協力者・理解者を増やすのは急務と実感しました

ふるさとホーム瀬谷※ 25年度にキャラバンメイト資格を得たケアマネジャーの石川敏子さん、長沼心美さん

今年4月15日、認知症グループホームでもあるふるさとホーム瀬谷を会場に初めての講座を開きました。集まったのは地域の人やボランティア、町内会役員。世代によって、また、介護経験の有無によって受け取り方が異なる認知症ですが「誰でもなるんだからね」と口にした参加者の前向きな受けとめ方に勇気づけられました。

認知症の理解と支えを広げるには思い込みや温度差の解消も大切です。往診の医師など専門家の後押しも受けて、入所者の家族向けの講座も考えています。

※NPO法人が経営する介護保険事業所（事業内容：居宅介護支援・訪問介護・通所介護・認知症対応型共同生活介護）

職場で

城南信用金庫 横浜支店・六角橋支店

高齢の利用者が多い金融機関のため、通帳、印鑑の紛失や何度も来店するなどの認知症の兆候にいち早く気づき、対応に生かそうというのが講座の目的。ビデオとテキストを教材としたこの日の講座には、2支店から職員33人が参加しました。

自分の親が認知症という職員は「知っているつもりでしたが…改めて参考になりました」。祖母とよく外出するという新人職員は「まさか自分の祖母は、という感覚でした。明日から業務に生かします」。窓口業務の職員も「ご本人の心中を察し、ご家族にも配慮した接遇をするようにします」と話してくれました。

◀終業後、2支店の職員が参加した講座（4月23日）。講座を担当したのは、キャラバンメイトと横浜市六角橋地域ケアプラザ・地域包括支援センターのスタッフです

▶受講後にキャラバンメイトに質問する職員。「ご本人とのやり取りをメモに残して課内や上司への報告、地域ケアプラザへの連絡に生かすという指摘を実践したい」と話していました

ドラッグストア クリエイトSD

講座開催と並行して店舗での具体的な見守り、声かけの方法をまとめた「認知症サポーター行動指針」を作成し、業務に生かしています。指針作成では、行政から有益な情報を得ることができたと講座担当の大山優理子さん。最寄りの地域ケアプラザへ各店舗から連絡する行動が根づけば、と期待しています。

「薬剤師は認知症の勉強はしているが、認知症の生活者を知らない」というのが開催のきっかけと大山さん。受講者からは「時間をかけて対応できるよう心がけます」「ご本人が一番つらいと感じた。温かな目で見守りたいと思います」といった声が聞かれました。

◀講座を企画した株式会社クリエイト エス・ディーの大山優理子さん（右）とキャラバンメイトとして講師を務めたエーザイ株式会社の赤峰秀敏さん（左）

▶講座を受講した港北高田店の薬局長 宮川さん（左）と、六角橋店の薬局長 武田さん（右）

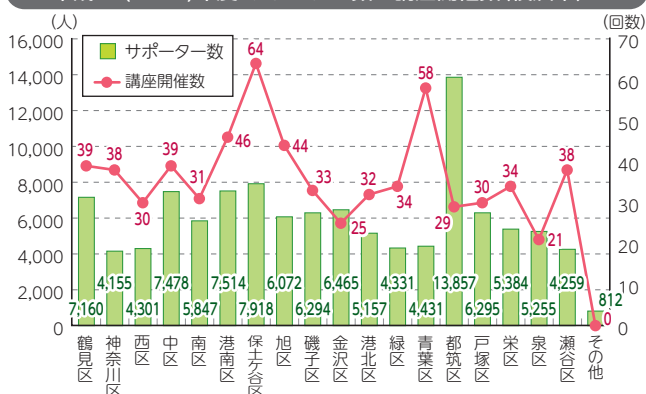
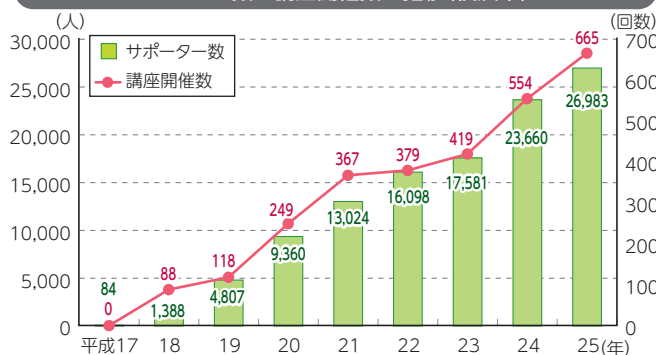
◀薬局長会議で開かれた認知症サポーター養成講座 （4月26日）。キャラバンメイト資格を持つ製薬会社の社員が講師を務め、横浜市荏田地域ケアプラザ・地域包括支援センターの主任ケアマネジャーが地域包括支援センターについて説明しました

特集 認知症への理解と支えは、まちかどから

まちかどケア

地域に暮らす人みんなで認知症やその介護について理解し、「まちそのものがケア(支え合う)の場となるように」との思いを込めて名付けられました。長年、それぞれの立場で福祉のまちづくりを進めてきた市民セクターよこはま・横浜市社協・横浜市の三者が経験とネットワークを生かして取り組み、まちかどケアは広がりを見せています。

★テレビなどで取り上げられることで認知症は脳の認知機能に障害がおこる、誰もがかかる病気という認識が浸透しました。認知症についての知識・理解を広める“講座の先生”のキャラバンメイトと、養成講座を受け“地域の支え役”となる認知症サポーターに注目が集まっています。

★サポーター養成講座(以下講座)は、自治会町内会、学校や企業などにキャラバンメイトが出向いてクイズ、寸劇や紙芝居、グループワークなどを通じて認知症の特徴や対応のポイントを学ぶものです。

提供:まちかどケア協働事務局

横浜市社会福祉協議会 地域福祉課 川崎博子さん

各区の社会福祉協議会に寄せられる学校からの福祉学習の相談では、認知症をテーマにする機会が増えています。

地域のサポーターさんやキャラバンメイトさんにご協力いただくことも多く、子どもたちと地域の方とがふれあう機会にもなっています。

サポーター養成講座をきっかけに多くの方がつながり、地域でちょっとした声かけや支えあいができるような地域づくりを目指していきたいと思います。

◆学校・企業などでの福祉の学習に関するご相談はこちら

各区の区社会福祉協議会へ

市民セクターよこはま 落合貴美恵さん

セクターには地域の見守りに生かしたい、企業研修の一環にという理由から講座の依頼が、また、どうしたらサポーターになれますか、といった相談もあります。

小中高校での講座も増加しています。お子さんから講座の話を聞き、関心を持ったお母さんから受講したいのですが、という電話をいただき感激しました。認知症を自分のこととして受け止める人が増えてきたと感じています。キャラバンメイトさん、サポーターさんの努力の賜物ですね。

◆まちかどケア事業(講座依頼など)はこちら

認定NPO法人市民セクターよこはま
☎:045-222-6501
FAX:045-222-6502
Eメール:mate@shimin-sector.jp

横浜市健康福祉局 高齢在宅支援課 藤浦和明さん

横浜市でも高齢化が進み、介護保険の認定を受けている人の約半数が認知症という現状があります。認知症は今や他人事ではなく、家族や友人、ひいては自分自身もなる可能性のある身近な病気となりました。

多くのみなさまに認知症について知っていただき、まちの中で困っている人がいたら、笑顔でやさしく声をかけてくれる人がたくさんいるようなまちづくりを市民のみなさまと進めていきたいと思います。

◆認知症に関する相談・講座依頼はこちら

お住まいの区の高齢・障害支援課または、お近くの地域ケアプラザ(地域包括支援センター)へ

シリーズ㉑

福祉の仕事

地域包括支援センターで働く 主任ケアマネジャー

横浜市並木地域ケアプラザ・地域包括支援センター（金沢区）

主任ケアマネジャー 左雨（さっさ） みや子さん

**人と会うたび
自分の引き出しが
豊かになって、
支援者として、
ひとりの人間として
成長していけると思います**

キャリアは長いのですか

▶短大在学時にボランティアをしていたこともあって福祉の世界に興味を持ち、地域ケアプラザのデイサービススタッフとして採用されました。その後、ケアマネジャーの資格を取り、昨年からセンターの主任ケアマネジャーになりました。

「いろいろな人と会う仕事」という印象です

▶ご家族の病気や介護の相談にみえる人、地域で見守る人、行政や福祉保健サービスを提供する人などさまざまな人と会い、刺激を受け勉強になっています。地域の歴史、どんな人たちが暮らしているかという知識もこの仕事に欠かせないので、なるべく多くの人と接するようにしています。

心がけていること、手ごたえを感じる時とは

▶相談にみえる人が、安心して不安や悩みなどの話ができるよう心がけています。相談の内容を整理して一人ひとりにあった制度・サービスを紹介し、必要に応じてケアマネジャーにつなぎます。
支援者としての活動を通じて引き出しに蓄積された経験が、さまざまな場面で生きているなと手ごたえを感じる一方で、仕事を「決めてかからない」ように気を付けています。

主任ケアマネジャー

ケアマネジャー実務を5年以上経験し、所定の専門研修課程を修了することなどが条件。介護保険、保健・医療サービス事業者との連絡調整、ネットワークづくり、ケアマネジャーに対する助言・指導などを行う。平成18(2006)年度に新設された。

地域包括支援センター（以下センター）

保健師(看護師)・社会福祉士・主任ケアマネジャーなどが、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう、介護保険やその他のサービスを上手に利用するための各種相談、支援を行う。横浜市では地域ケアプラザなどに設置されている。

相談内容を整理したり、報告書などの書類を作るために机に向かう時間もあります

地域包括支援センターで一緒に働く
保健師の遠藤 静さん（中央）
社会福祉士の関野 雅徳さん（右）

左雨さんの仕事

★センターでの相談業務、相談者宅への訪問や関係機関との調整・会議などテーマごとに予定を立てます。

★地域ケア会議の開催や、ケアマネジャーの育成、民生委員・児童委員など地域福祉で連携する人たちと情報交換・事例共有を行います。

関わることが多い人たち

左雨さん
- ケアマネジャー
- 民生委員・児童委員
- 地区社会福祉協議会
- 区社会福祉協議会
- 区福祉保健センター（区役所）
- 老人会の人たち
- 地域の人たち

など

横浜市内の福祉人材に関する求人情報

ウェルじゃん求人情報　http://www.yokohamashakyo.jp/willing/weljan/weljan-kyujin.html
横浜市介護人材求人情報システム　http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/zinzaikakuho

月曜喫茶室

ボランティアに興味がある。始めてみたい。そんなあなたの気持ちにこたえるLet's tryボランティア。
今回は横浜市麦田地域ケアプラザ(中区)で月2回、ボランティアと職員が近隣の利用者を迎えてゲームや工作、歌、お茶などを楽しむ「月曜喫茶室」を訪ねました。

30代～80代までいるメンバーのみなさんに聞きました

◆参加できる日、できる時間に無理なく活動できるのが長続きの理由かも(女性)

◆麦田地域ケアプラザの近くにお住まいの方、一度、見学に来てみませんか(男性)

◆ここでのボランティアのほか、デイサービスでバンド演奏も披露しています(男性)

◆開催ごとに分担を決めているのもいい点だと思います(女性)

◆ストレッチ体操の担当をしています。ボランティア活動をきっかけに自身の体力向上にも心がけています(男性)

◆「利用者の評価は高い」と職員から聞いています。うれしいです(女性)

◆気さくなメンバーです、ボランティアを始めるのにいいかも…(全員)

▲セロハンを材料にしたステンドグラス風窓飾りは、ボランティアメンバーのアイデアから生まれた工作

▲利用者のリクエストで楽しむ、懐かしい歌の時間

▲この日参加したボランティアと地域ケアプラザの職員。反省会のあとで。

ここがポイント!

★活動日が固定。仕事・私用の予定が立てやすい
(毎月第2・第4月曜日の午後、3時間ほど)

★活動場所はケアプラザ内。職員も近くにいて何かあれば手伝ってくれる

★毎回、反省会を開いて意見交換
今年9月に第200回を迎える

- 麦田地域ケアプラザの開館とほぼ同時に始まった「月曜喫茶室」
- 平成22(2010)年7月に第100回を迎えた。
- 利用者は毎回20人前後、多い時は40人に迫る。
- 工作・ゲーム、お茶の事前準備などを充実させるため意見交換を行い、利用者に楽しんでもらえるよう工夫を凝らす。
- 活動後に行う反省会では課題をあげて検討し、次回の役割や手順を確認する。わからないこともこの場で相談ができる。

月曜喫茶室からのメッセージ

新規のボランティアを募集中です!
まずは見学から始めてみませんか?
お気軽においでください。

「月曜喫茶室」への問合せ

横浜市麦田地域ケアプラザ(中区麦田町1-26-2)
☎045-664-6023　FAX:045-664-6075　担当・秋元
・最寄り駅・バス停:JR石川町駅南口下車徒歩10分/市営バス「麦田町」バス停下車

★企業の新人社員研修の実践 ～JXエンジニアリング株式会社～

　JXエンジニアリング株式会社（本社:中区桜木町一丁目1番地8日石横浜ビル）にて、新人社員研修（技術職34名）として、4月24日（木）に「ボランティア体験研修」・4月30日（水）に「バリアフリーマインド研修」が実施されました。

　横浜市ボランティアセンターは、実施に向けた調整および「バリアフリーマインド研修」では企画と当日の進行等の役割を担い協力しました。

4月24日　ボランティア体験研修

　NPO法人アクションポート横浜の企画・コーディネートのもと、港南台駅近くの港南台生き生きプレイパークにてボランティア体験研修を実施しました。

　活動は、港南台生き生きプレイパークにある竹林にて、子ども達や保護者などプレイパークに遊びに来る方々の事を考え、みんなで楽しめる竹を使った遊具づくりを行いました。

社員からの感想

- 最初は不安だったが、結果として良いものが出来たと感じた。
- 道具の扱い方等、仕事にも十分に活かせる体験だった。

遊具づくりの様子

港南台生き生きプレイパークより

- こうした企業の社員の受入をしたのは初めてだったが、竹林での遊具を作ってもらうなど、受入側にもメリットになった。

アクションポート横浜より

- 若い人たちは「地域」との接点があまりなく、地域で活動する人たちの事を知ることで、地域貢献の意識が芽生えると思います。今回のような研修に取り組む企業が増えることを期待します。

4月30日　バリアフリーマインド研修

　NPO法人横濱ジェントルタウン倶楽部と協働し、バリアフリーやダイバシティ（多様性）等を理解することを目的にJXエンジニアリング（株）にて研修を実施しました。

　午前中は、車いす体験と視覚障害者誘導体験を実施。午後は、当事者からの講義と体験や講義からの気づきや課題等をまとめ、個人・企業・地域でできることをグループにて検討を行い、発表し共有しました。

社員からの感想

- 今回の研修で、相手の立場になって考えることの重要性を学ぶことができた。
- 困っている人がいれば、自分から率先して手助けができればと感じた。
- 是非、来年の新入社員にも講義を聞いて欲しいと思います。

横濱ジェントルタウン倶楽部より

- 企業の新入社員教育の一つに組み入れていただき、ありがたく思っています。社員のみなさん、とても積極的に取り組んで発表も素晴らしかったです。
もっと多くの企業にも取り入れていただけたらと思います。

車いす体験の様子

グループワークの様子

- NPO法人 アクションポート横浜（http://actionport-yokohama.org/）
- 港南台生き生きプレイパーク（http://ikiiki-playpark.jimdo.com/）
- NPO法人 横濱ジェントルタウン倶楽部（http://yokohama-gentle.jp/）

問い合わせ先：横浜市ボランティアセンター　☎045-201-8620

ボラちゃんが行く！　ボランティアの4原則の巻

ボランティアには4つの原則があるよ!!

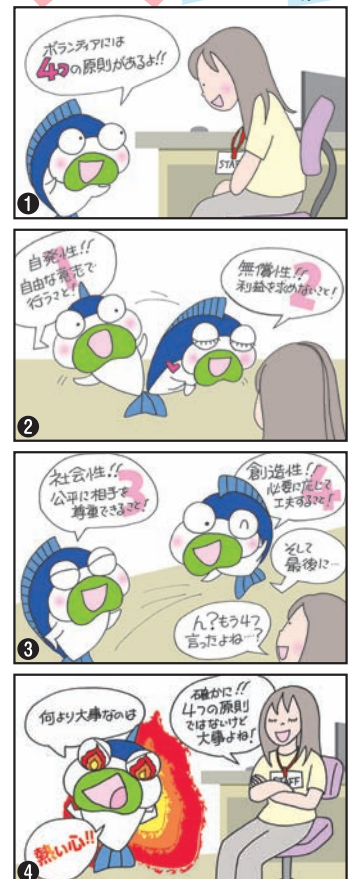
自発性!! 自由な意志で行うこと!

無償性!! 利益を求めないこと!

社会性!! 公平に相手を尊重できること!

創造性!! 必要に応じて工夫すること!

そして最後に…

ん?もう4つ言ったよね…?

イラスト：和泉直子

横浜市社協　苦情解決状況の報告

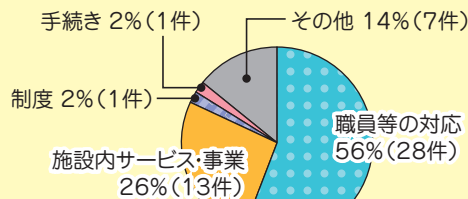
横浜市社協では、事業やサービスを安心してご利用いただけるように、ご意見・ご要望・苦情等をお受けする相談窓口を設けています。

寄せられた苦情

地域ケアプラザの展示コーナーは、区外のサークルの作品が来館者の目につきやすい場所に展示してあるのに、地域住民の作品は暗い場所に展示されている。

対策 職員会議で話し合い、公平に展示できるように展示規程を制定し、定めたルールに沿って運用することとしました。

朝一番に電話をしても研修室の予約が取れない。自主事業で予約できない日を事前に知らせてほしい。

対策 自主事業等で予約が埋まってしまうことがないよう、予約調整会議を立ち上げて、調整するよう改善しました。

今後もみなさまのご要望に応えられるように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

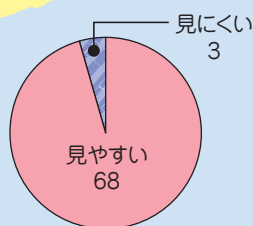
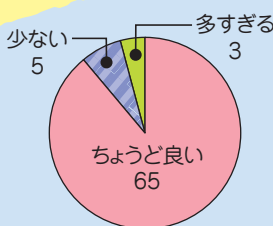
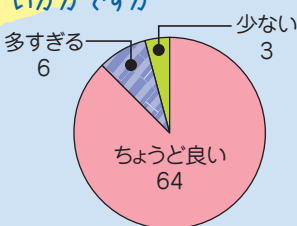
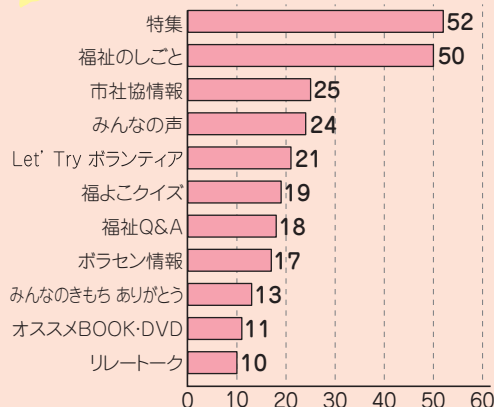
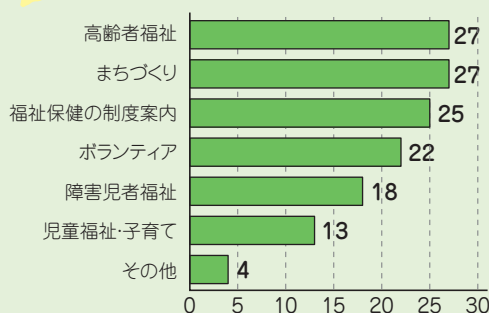
ご意見箱もご活用ください。

横浜市社協及び各区社協ではご意見箱を設置しています。お気づきの点等をぜひお寄せください。

〈インターネット版〉 横浜市社協 ご意見箱 検索

お問合せ
横浜市社会福祉協議会　総務部総務課
☎045-201-2096　FAX：045-201-8385
Eメール：koe@yokohamashakyo.jp

福よこアンケート結果

第170号で募集した「福よこアンケート」の結果をご報告します。（総回答数73件）

全体的に今の紙面で見やすいとの評価をいただきました。

全体的にあまり差はありませんでした。
制度情報などもより積極的に取り上げていきたいと思います。

アンケートにご協力いただき、貴重なご意見ありがとうございました。今後もみなさまの声を生かしながら「福よこ」がみなさまに愛される冊子になるよう、より一層努力していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

福祉Q&A

Q 「オレンジリング」って なんですか?

A 認知症サポーター養成講座を受けた認知症サポーターに、認知症を支援する目印として渡されるのが「オレンジリング(ブレスレット)」です。

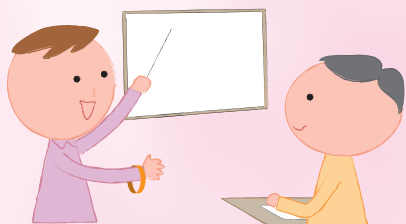
認知症サポーターは認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者となり、認知症の人や家族の気持ちを思いやる、友人や家族に認知症に関する知識を伝えるなど、自分のできる範囲で活動を行います。

Q 「認知症キャラバン・メイト」って なんですか?

A 「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務める人のことです。キャラバンメイトになるためには、自治体などが実施する所定の研修を受講し、登録する必要があります。研修の受講対象は次の要件を満たす人で、年間10回程度(最低3回)を目安に「認知症サポーター養成講座」を原則としてボランティアの立場で行なえる人とされています。

1. 認知症介護指導者養成研修修了者
2. 認知症介護実践リーダー研修(認知症介護実務者研修専門課程)修了者
3. 介護相談員
4. 認知症の人を対象とする家族の会
5. 上記に準ずると自治体等が認めた人
   - 行政職員
   - 地域包括支援センター職員
   - 介護従事者
   - 医療従事者
   - 民生委員･児童委員
   - その他(ボランティア等)

オススメ DVD

©2012 NY GALS FILMS
2012年/日本/93分
監督:関口祐加
配給:株式会社シグロ

『毎日がアルツハイマー』

横浜を舞台に監督自身がアルツハイマーの母親を介護する長編ドキュメンタリー動画。YouTubeで累計50万アクセスを記録した話題の作品です。

認知症の母の介護という重たいテーマですが、介護者である監督の性格もあり、明るく描き出されています。合間で専門医による介護者への説明が認知症の解説にもなっており、認知症のことが分かりやすく学べます。

一緒に見た家族が「家族が認知症になる怖さが少し無くなった」と太鼓判。

『毎日がアルツハイマー2』も7月19日(土)よりポレポレ東中野にてロードショー決定。是非ご覧ください。

リレートーク

福祉って ここがおもしろい ここがむずかしい

情けは人のためならず?

介護保険のスタートをはじめとして、この十数年の間に障害福祉や子育て支援など幅広い分野で福祉が拡大、充実してきました。「福祉のお世話になりたくない」という言葉は過去のものになりつつあり、福祉サービスにつなげれば何とかやっていくことができるとの安心感が広まってきました。しかし、サービス利用だけでは何か物足りないものも感じます。福祉サービスは受けやすくなりましたが、「人に迷惑をかけないよう、お世話にならないように」との思いは依然として強く、福祉サービスの充実がかえって近隣のつながりを弱めてしまったようにも感じます。

「情けは人のためならず」ということわざがありますが、半数の人がその反対の意味にとるとか…。間違えないようその後に「巡り巡って己がため」と付けるとよいという話を聞きました。少々ドライにも聞こえますが、近隣での見守りや助けあいなど地域福祉の的を射た言葉のようにも思えます。

自助・共助・公助のバランス、中でも共助の層をいかに豊かに厚くすることができるかがこれから求められてきます。

いま、あちこちで増えている地域の「たまり場」が、人と人との出会いの場、ちょっとした頼みごとと頼まれごとができるような、あったかな地域づくりの一助となることを期待しています。

社会福祉法人
横浜市社会福祉協議会
常務理事
芳賀(はが) 宏江(ひろえ)

みんなのきもち ありがとう

みなさまから寄せられたご寄付は、市内の市民活動団体、障害児・者団体の支援のため、有効に活用させていただきます。

ご寄付いただきました！(善意銀行)

株式会社 横浜ステーションビル

平成26年1月22日、株式会社横浜ステーションビル様から児童福祉のために活用して欲しいとの趣旨で善意銀行へご寄付をいただきました。

横浜ステーションビルはJRの鶴見、東神奈川、鎌倉、保土ケ谷など駅直結のショッピングセンターであるCIAL(シァル)を運営管理している会社です。

寄付のきっかけ

市民一人ひとりに想いはあっても、自分で寄付先を探して寄付をするというのはハードルが高い。そこでCIAL(シァル)という受け皿があれば、趣旨に賛同した市民のみなさまが寄付というアクションを起こしやすいのではないかと考えたことがきっかけです。

寄付活動内容

今回は、平成25年の12月末にCIALPLAT東神奈川(シァルプラット)でクリスマス抽選会が行われ、その際に末等の当選者にポケットティッシュか寄付かを選んでもらうという取り組みが行われました。

期間中、末等の当選者2,100名のうち半数以上の1,182名が寄付を選択しました。この予想以上の成果には主催者側も驚いたそうです。

寄付金額

寄付は1口10円で換算され、総額で11,820円のご寄付をいただきました。

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。順不同・敬称略
平成26年1月1日～平成26年3月31日分

善意銀行　金銭寄付者

- 鉄道信号 株式会社 横浜営業所
- 鉄道信号 株式会社 神奈川工事所
- 株式会社 横浜ステーションビル
- 吟楽会
- 三菱日立パワーシステムズエンジニアリング 株式会社
- 横浜信用金庫 理事長 斎藤 寿臣
- 匿名

善意銀行　物品寄付者

- 相鉄グループCSR推進事務局
  - 相鉄ホールディングス 株式会社
  - 相鉄バス 株式会社
  - 相鉄ローゼン 株式会社
  - 株式会社 相鉄リテールサービス
  - 相鉄興産 株式会社
  - 相鉄不動産販売 株式会社
  - 株式会社 相鉄アーバンクリエイツ
  - 株式会社 相鉄ビルマネジメント
  - 株式会社 キャピタルプロパティーズ
  - 相鉄企業 株式会社
  - 横浜熱供給 株式会社
  - 相鉄ウィッシュ 株式会社
  - 相鉄イン 株式会社
  - 株式会社 相鉄イン開発
  - 相鉄ビジネスサービス 株式会社
- 公益財団法人 みずほ教育福祉財団 理事長 森 信博(2件)
- ライオン 株式会社
- 横浜DeNAベイスターズ バルディリス
- 株式会社 横浜スタジアム 代表取締役社長 鶴岡 博
- 匿名

よこはま あいあい基金寄付者

- コーヒーの大学院 ルミエール・ド・パリ(3件)
- 神奈川県大衆音楽協会
- ユニー 株式会社 関東営業部

障害者年記念基金寄付者

- 昭和大学保健医療学部看護学科 教職員一同
- ふれあいチャリティーバザー実行委員会
- 共に生きるふれあいバザー実行委員会代表 北田 正
- 株式会社 大宮ゴルフコース 代表取締役 甘糟 澄子

福祉基金寄付者

- 一般社団法人 横浜市港友会
- 匿名(2件)

賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。順不同・敬称略
平成26年2月1日～平成26年4月30日新規受付分・継続受付分

団体会員

- 脇公認会計士事務所
- 山和石油株式会社
- NPO法人 神奈川県腎友会
- 株式会社 大八
- 株式会社 サンリフォーム
- 株式会社 江戸清
- 税理士法人 仲田パートナーズ会計
- 株式会社 エースプラン
- 横浜クリニック・友の会 会長 佐々木 幸男
- ほか1件

個人会員

- 須藤 安三
- 服部 淑子
- 青木 伸久
- 髙橋 昌三郎
- 宗貞 秀紀
- 杉山 順三郎
- ほか2件

賛助会員になっていただけませんか

賛助会員は、横浜市社会福祉協議会の行うさまざまな地域福祉推進の"サポーター"として会費による支援を行っていただいています。会員はいつでも、どなたでもなることができます。

【年会費】(個人)一口 2,000円　(団体)一口 10,000円

【お問合せ】横浜市社会福祉協議会　総務部
☎045-201-2096　FAX:045-201-8385

みなさまのご協力をお待ちしています。

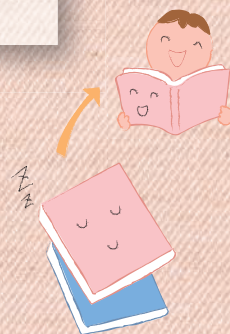
最近は「福祉」の範囲に子育てがある事が認知される様になり、とてもうれしいと思います。
（神奈川区 伊藤 哲郎さん）

1年後には退職となり、ボランティア等社会参加出来ることはないかと「福祉よこはま」を手に取りました。
（匿名希望）

福祉は年令に関係なくすべての人に必要です。上手に生活の中に溶け込めばと思っています。
（港南区 森田 元江さん）

力強く、やさしく、温かく、横浜の福祉を見守り続けていただいている福祉よこはまに毎号感動と元気をいただいています!ボラセン情報・ヨコハマ寄付本とても良いアイデアです。ぜひ協力したいと思っています。
（匿名希望）

皆様が色々の面で、頑張っている事がよく分かりやすく、読んでいます。一言で福祉（ボランティア）と言いますが、とても大変な活動が福祉よこはまを通じて見えて来たことに感謝しています。楽しみにしています。
（鶴見区 工藤 日出子さん）

笑顔プランいいですね。もっと広げて欲しいです。
（匿名希望）

福よこクイズ

たくさんのご応募、お待ちしています!

Q1 特集：全国で実施されている「認知症サポーター100万人キャラバン」。横浜市では昨年、サポーター数が〇〇万人を突破。（数字2文字）

Q2 福祉の仕事：地域包括支援センターで働く3人の専門職、主任〇〇〇〇〇〇〇、保健師（看護師）、社会福祉士。（カタカナ7文字）

Q3 Let's try ボランティア：麦田地域ケアプラザで月2回開かれている〇〇喫茶室。（漢字2文字）

前号171号の福よこクイズの答えは、
Q1どにち　Q2笑顔　Q3ヨコハマ　でした。
沢山のご応募ありがとうございました。

応募方法

はがき・FAXまたはEメールにQ1～Q3のクイズの答え・郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号・「福祉よこはま」の入手方法と「福祉よこはま」への感想（※みんなの声に掲載する場合があります。氏名・居住区の掲載可否と匿名希望の場合はイニシャル記載）をご記入の上、下記までお送りください。
抽選で20名の方にプレゼントを差し上げます。

安全ライト

締め切り：平成26年7月31日（木）
消印（はがき）・
到着（FAX・Eメール）有効

・クイズの答え Q1～Q3
・郵便番号・住所
・氏名（ふりがな）・年齢
・電話番号
・「福祉よこはま」の入手方法
・「福祉よこはま」への感想
・みんなの声への掲載可否（※感想・居住区・氏名）

〒231-8482　横浜市中区桜木町1－1
横浜市社会福祉協議会「福よこクイズ」係

FAX：045-201-8385
Eメール：fukuyoko@yokohamashakyo.jp

福よこクイズがQRコードで簡単に応募できます。

QRコードとは?
バーコードリーダーの機能を搭載している携帯電話で、このバーコードを撮影すると、簡単にウェブサイトにアクセスしたり、アドレスを登録できる機能です。

読み取り方
バーコードの利用法は、ご利用の機種によって異なりますが、おおむね以下のとおりです。
①バーコードに対応しているカメラ付き携帯電話で、バーコードリーダーを起動し、バーコードを撮影します。
　※バーコードリーダーの起動方法は携帯電話の機種によって異なります。詳しくは、ご利用の携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
②バーコードに含まれている情報（ウェブサイトのアドレスなど）が表示されるので、画面の指示に従います。
③メール作成の画面から必要事項を記入して送信してください。

※応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考にのみ利用させていただきます。

編集後記
●特集の取材では企業の中でも各店舗での取組が広がっていることを感じました。さらに、店舗と地域がつながり、認知症の方を一緒に見守る仕組みが必要だと感じました。さて、今号から編集担当が新しくなりました。より、みなさまから愛される「福よこ」を目指しますので、よろしくお願いいたします。（編集担当）

福祉よこはま
No.172
2014年6月13日
次号 No.173 2014年9月 発行予定

発　行：社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-2090 FAX:045-201-8385
Eメール：fukuyoko@yokohamashakyo.jp
URL：http://www.yokohamashakyo.jp
デザイン：(株)オールスタッフ

広告

平成26年度

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険　検索

全国200万人加入!!

ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

対象となるボランティア活動

◆グループの会則に則り企画、立案された活動であること
（グループが社会福祉協議会に登録されていることが必要です。）

◆社会福祉協議会に届け出た活動であること

◆社会福祉協議会に委嘱された活動であること

※活動のための学習会または会議などを含みます。

※自宅などとボランティア活動を行う場所との通常の経路による往復途上を含みます。

保険金をお支払いする主な例

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをした。（ケガの補償）
- 活動に向かう途中、交通事故にあった。（ケガの補償）
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になった。（ケガの補償）
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花びんを落としてこわした。（賠償責任の補償）
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。（賠償責任の補償）

補償金額（保険金額）・保険料

			Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,200 万円	1,800 万円
	後遺障害保険金		1,200 万円（限度額）	1,800 万円（限度額）
	入院保険金日額		6,500 円	10,000 円
	手術保険金	入院中の手術	65,000 円	100,000 円
		外来の手術	32,500 円	50,000 円
	通院保険金日額		4,000 円	6,000 円
賠償責任の補償	賠償責任保険金		5 億円（限度額）	5 億円（限度額）
年間保険料	基本タイプ		300 円	450 円
	天災タイプ*		460 円	690 円

＊天災タイプでは、天災（地震・噴火・津波）に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償！

●行事参加者（主催者［個人］を含みます。）全員のケガを補償（往復途上も含みます。）　●行事主催者の損害賠償責任も補償

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償！

●送迎・移送サービス利用者を特定したAプラン
●送迎・移送サービスのための自動車を特定したBプラン

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償！

●在宅福祉サービス
（公的介護保険対象外サービスを含みます。）
●地域福祉サービス
●障害福祉サービス
●児童福祉サービス
●障害者地域生活支援事業　など

● お申込み、詳しい内容のお問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者　社会福祉法人
全国社会福祉協議会
〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社
TEL:03(3593)6245

取扱代理店　株式会社 **福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667　FAX:03(3581)4763
受付時間：平日の 9:30〜17:30（12/29〜1/3 を除きます。）

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

日本興亜損保と損保ジャパンは、関係当局の認可等を前提として、平成26年9月1日に合併し、「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」になります。

〈NK13-80727　平成26年2月12日作成〉